

令和6年  
1月号  
通巻第43号

# 塩釜シルバーだより

発行  
公益社団法人塩釜市  
シルバー人材センター  
理事長 引地 榮五  
塩釜市尾島町18-17  
☎ 022-367-5940



迎 春  
2024.1.1

龍



社会貢献を心がけ、シルバーの存在価値を高めよう！

## 理事長 引地 榮五（月見小4班）

新年おめでとうございます。本年もよろしくお  
願い致します。

さて、佐藤新局長が就任してから一年が経過い  
たしました。コロナの終息が未だ見えない中、中  
断していた「イベント」も3年振りにあちらこち  
らで開催されるようになりました。

7月17日には、第76回塩竈みなと祭には2  
5名の方々が参加して猛暑の中元気よく「よしこ  
の塩竈踊り」を披露し、観衆の方から多くの拍手  
をもらいました。

7月5日から事務所2階にて「シルバーカフェ」  
(毎週水曜日9時30分から11時)が開催され  
回を追う毎に、「暫くぶりに会いたい」、「会話を  
楽しみたい」という言う方々が増えてきています。

「ミス・シルバー」のスタッフ一同が笑顔でお待  
ちしておりますので、多くの会員のご来場をお待  
ちしております。

9月18日「敬老の日」には、体育館入口の一  
角にブースを設置し「ポップコーン」の無料配布  
を行い多くの高齢者やお子さんから感謝の声を  
いただきました。

10月28日の「シルバーの日」には、朝早く  
から30名の皆さんに参加していただき、「本塩

釜駅アクアゲート口」前から「奥州一宮鹽竈神社  
表坂参道」迄行き、帰りは「お釜神社前」を通り  
アクアゲート口まで約2時間の行程で、塩竈市民  
そして遠方から来られる旅行者に塩竈を楽しん  
でもらおうと清掃作業を行いました。

どのイベントにもシルバーセンターの「のぼり」  
を掲げ、PRにも余念がありません。局長は就任  
してまだ一年を経過したばかりで初めて経験す  
ることが多く、かなり神経を使った事と思います。

10月15～16日には暫く振りに「シルバー  
友の会秋の旅行会」が行われ、紅葉が見頃の「ハ  
イルザーム栗駒」に私と局長が参加しました。当  
日はあいにくの雨でしたが、送迎バスが塩釜を出  
発してから時間が経つにつれ会話がはずみ、目的  
地に着く頃にはすっかり友達同士となり素晴ら  
しい旅行となりました。翌日は晴天に恵まれ楽し  
い旅行となりました。シルバー友の会小松会長以  
下役員の方々には感謝を申し上げます。

11月23日（勤労感謝の日）には、「塩竈市  
主催の市政功労者表彰式」が行われ、当会会員永  
正司氏が受賞されました。おめでとうございます。

話は変わりますが、10月より「インボイス制  
度」が始まりその他いくつかの行事が行われまし



たが、割愛させていただきます。毎年度ごとに消費税増すことから、財源をどうするか頭を悩ませております。

又、近年大手企業が、シルバー人材センターが従来行っている仕事に喰い込んでくる事例が目立つようになってきており、これまで直接受注してきた仕事が大手下請けになる可能性が予想されることから、一般からの受注を増やす事が大事と考えており、市民の方々にセンター活動をもっと知ってもらい、存在価値を高め受注を増や

す事が必要となっております。その為にも、存在価値を高め一人でも多く入会してもらい、一人でも多くの方達に生き甲斐を感じてもらうことが、行政にも寄与する大切な事と思います。

「共働」「共助」の精神の元、今後共、会員皆様のご指導ご協力を得ながら前進して行きたいと考えております。

結びになりますが寒さも厳しくなる折、体調には十分お気をつけてお過ごしください。



## 年頭に当たって

事務局長 佐藤 勝美 (月見小4班)

新年あけましておめでとうございます。令和4年5月に会員となり、事務局のパート職員をしていましたが、前事務局長の急な退職により一昨年10月から事務局長となり、1年3ヶ月が経ちました。経験不足での事務局長就任ということで自分自身が試行錯誤の毎日でした。

会員の皆様や職員には、経験不足や能力不足などもあり頼りない事務局長と感じられたかもしれませんが、今後も努力を怠らず活気あるシルバー人材センター運営を目標に邁進してまいります。さてコロナ流行が縮小に向かっていることで、

昨年は3年振りに事務所2階でのシルバーカフェ開始、ボランティア清掃や友の会で旅行会を再開するなど、コロナ以前の事業活動が可能となってきております。

今年については1月下旬には「新春研修会・新春の集い」2月には全会員を対象とした「接遇と安全の講習会」を予定しており、コロナ前の活動状況に戻せるように努力してまいります。会員の皆様方も各種行事などに積極的に参加していただき、当シルバー人材センターの益々発展出来るようにご協力よろしく申し上げます。

賛助会員の皆様 令和6年もよろしくご支援ご指導の程 お願い申し上げます

東日本自動車学校 様  
塩釜市月見が丘6の7  
電話 (362)2292

有限会社渋谷清掃 様  
塩釜市伊保石7の15  
電話 (367)3131

有限会社宮城  
リサイクルセンター 様

塩釜市港町1の7の1  
電話 (363)9987

株式会社  
今野モーターズ 様

塩釜市牛町12の15  
電話 (364)5221

遠藤株式会社 様

塩釜市花立町16の12  
電話 (352)4764

株式会社高山 様

塩釜市尾島町10の18  
電話 (362)3181

進々堂商光株式会社 様  
仙台市宮城野区白鳥  
2の2の18

電話 (349)4540  
MGプロデュース 様

(マリンゲート)  
塩釜市港町1の4の1

マリンゲート塩釜2階  
電話090(7334)8178



## ごあいさつ

塩釜市長 佐藤 光 樹

シルバー会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本市の行政運営に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

塩釜市シルバー人材センターにおかれましては、昭和57年の設立以来、平成、令和と40年以上の長きにわたり高齢者への就労機会の提供や社会参加の促進などを通じ、生きがいづくりと地域社会の活性化に貢献されておられます。

昨年においては、まちの清掃などボランティア活動にも積極的にシルバーパワーを発揮していただき、理事長をはじめ、役員並びに会員の皆様方の日々の活動に対し、深く敬意を表する次第でございます。

本市におきましても、公共施設の管理業務をはじめ、選挙事務における資材運搬など、毎年数多くの業務に携わっていただいております。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、ここ数年日本中に暗い影を落としていました新型コロナウイルス感染症が感染症法における5類感染症に移行いたしました。それに伴い、日本各地では休止してい

たイベントが再開し、また、観光地には多くの観光客が訪れるなど、徐々にではありますが社会全体に明るさが戻りつつあると感じております。

本市におきましては4年ぶりに市民祭りやみなど祭りが通常開催されました。また、シルバー人材センターの皆様にご後援・ご協力いただき、長らく開催が見送られておりました高齢者まつりを開催することもできました。ご尽力いただいた皆様に重ねて御礼申し上げます。

2024年の干支は「甲辰」であります。「甲辰」は成功の芽が成長し、姿を整えていく、さらにはこれからの成長を形作っていく年であると言われております。コロナ禍を契機に新たな技術やサービスの開発・提供も進み、苦しい時期を乗り越えて、新しい社会の形が作られようとしています。本市もこの社会の動きを的確にとらえながら、10年後20年後も住み続けたいと思っただけのまちづくりを進めてまいります。

結びになりますが、塩釜市シルバー人材センターの益々のご発展と、皆様の一年が「甲辰」のとおり活力あふれる年となりますよう心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 地域のシルバーさんとともに

塩釜市立玉川小学校 校長 佐々木 美奈子

「校長先生、今日はしげじいじが来るんだよ」登校してきた子供が私に話し掛けてきました。楽しそうに話す姿から心待ちにしている様子がうかがえます。

スマートフォン、テレビ、ゲームなどスクリーンを見る時間が増えたことにより、「本離れ」が問題視されて久しくなりますが、本校は、毎朝、読書活動から一日の学校生活をスタートし、本に親しむ時間を大切にしています。毎日、子供も担任も思い思いの本を10分間読むのですが、木曜日は、地域の読み聞かせボランティアさんが来校し、子供たちに本や紙芝居の読み聞かせをしてくださいます。そのボランティアさんのお一人が「しげじい」ことシルバー人材センターの畠山孝繁さんです。

畠山さんは、東日本大震災のことを子供たちに分かりやすく読み聞かせをしてくださっています。現在、小学校に在籍する子供たちは、東日本大震災以後に生まれた子供たちです。当時の様子を畠山さんの読み聞かせを通して聞くことで、風化することなく子供たちが語りつないでくれることと実感しております。シルバーさんが子供たちに地域の様子を話し、それを子供たちが次の世代につないでいくことは大変意義深いことです。

子供たちだけではありません。私たち

教職員も「元気」と「時間」をもらっています。

シルバーさん方が、「元気ですか」「今日も一日がんばりましょう」という言葉に笑顔を添えてくださるので、ほっと心が安らぎます。図書担当の若い教員は「いつも笑顔に元気づけてもらっています」と、会話をするたびに「元気」をもらっているようです。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っていた時には、シルバー人材センターの皆さんが、教職員に代わって消毒作業をしてくださったと聞いております。当時本校に勤務していた教員は、子供や学級の仕事に当てる「時間」が何よりのプレゼントだったと話しています。

この消毒作業の取組は「しおがまウイルスバスター隊」として新聞に記事が掲載されるほど注目されました。全国に先駆けた、地域とともに子供を育てる力ある取組だったことがうかがえます。

読み聞かせや安全サポーター等、様々な形で学校教育に参画いただき、シルバーさん方とともに子供たちを育てていけることを感謝するとともに、これからも元気な笑顔で学校に足を運んでくださることを、子供たちとともに教職員一同心待ちにしております。

# 宮城車椅子を贈る会

事務局 塩釜市シルバー人材センター  
代表 田中昭彦 (杉小3班)

## 贈呈・報告

コロナの関係でしばらく「プルトップ」を各業者買取りして頂けず換金出来ずにおりました。今回シルバー人材センター佐藤事務局長と業者社長様が前向きに話しあわれ良きご理解をいただき、買い取って頂きました。よって今回2台の「車椅子」を購入出来、贈呈いたしました。ご報告申し上げます。

2010年から個人で活動を始め、以後各町内会・各団体・多くの皆様にはボランティア活動に参加して頂き又励まし支えて頂いて今日までの実績を上げることが出来ました。これをもちまして「宮城車椅子を贈る会」を、最後として閉じさせていただきたいと思えます。

大変申し訳ございませんが紙上をお借り致しまして御礼の言葉とさせていただきます。長い間本当にご協力・ご支援誠に有難う御座いました。

### 車椅子贈呈実績 (11件)

(敬称・略)

年	贈呈先
2015	あしたば会「あすなろ」 (阿部勝行 贈呈)
2016	塩竈市社会福祉協議会「松ぼっくり」 (半澤佳夫 贈呈)
2017	塩竈市財政課「塩竈市本庁舎」
2017	社会福祉法人「塩竈市社会福祉協議会」
2018	塩竈市「塩竈市健康福祉部」

年	贈呈先
2018	塩竈市「塩竈市ガス体育館」
2019	「塩竈市立病院」
2020	多賀城市「福祉工房 のぞみ園」
2023	社会福祉法人「塩竈市社会福祉協議会」 (伊藤沙弥佳 贈呈)
2023	「グループホーム やすらぎの里」
2023	「グループホーム 杉の入 あさひ園」



グループホームズ「やすらぎの里」



グループホームズ「杉の入あさひ園」





## 正しい仕事を正しく行う

遠藤株式会社代表取締役

遠藤 康 浩（賛助会員）

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人塩釜市シルバー人材センター様、会員の皆様には常日頃から大変お世話になっております。

当社はセンター会員様の傷害保険、賠償責任保険等の担当をさせていただいております。普段よりご理解ご協力をいただいておりますことに対し御礼申し上げます。今年もよろしくお願い致します。

さて私共が対応しておりますセンター業務関連の事故の中でここ最近多発しているのは草刈りや樹木剪定時の事故です。その中でも飛び石により、現場近くの建物や自動車に傷をつけてしまうという事故が後を絶ちません。

- ① 1人での作業ではなく必ずチームで仕事を行う。複数人の目で確認し合い、横の連携をきちんと図ることが大切です。
- ② 事前の現場確認と近隣への事前挨拶をする。
- ③ 現場の周りには障害物がないか確認する、

ある場合は防護ネットを張る。作業の前に車などの障害物を移動してもらう。

等々の対策を実施していただきたいと思いません。

事故防止対策の不備は、過失を見なされ保険不適用になる可能性があります。特別なことをするのではなく、いま一度基本に立ち返って「正しい仕事を正しく行う」ことを実践していただければと思います。

また、近年、全国で頻繁に発生している台風や大雨、地震をはじめとする自然災害についても触れたいと思います。こちらについては、その発生が予測出来ず甚大な被害を各地にもたらしています。少しでも被害を軽減し、日常業務や生活を復旧させるためにセンター事務局様において「BCPの策定（例えば、大災害が発生した場合の対応措置等）を実施することも会員様をお守りするうえで大切であろうと思います。

最後になりますが、公益社団法人塩釜シルバー人材センター様の益々の発展と職員、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。

**安全はみんなの意識で事故ゼロに**

**＝ケガをしない・ケガをさせない・命を大切に＝**

# もしかして・・・を忘れずに

## 安全は 無理せず 焦らず 油断せず

(令和5年度～7年度 安全スローガン)

事務局主事

安全衛生委員 増山 あさみ

会員の皆様に安全意識を高めてもらうため、安全衛生管理委員会の開催と安全パトロールを毎月実施しています。安全委員は委員長はじめ会員の皆様から7名、事務局から2名の9名編成で行っています。

安全パトロールは安全衛生推進者の資格を持った委員長、各職域班から選ばれた安全委員が安全チェックリストを基に除草作業、植木作業、清掃作業、管理業務等の現場パトロールを行います。

ヘルメットなどの保護具の着用、刈払機の適切な使用方法などチェック項目は30を越えます。

連日の猛暑においての熱中症対策や蜂刺され対策など細かなチェックを行い、実際に作業を行っている会員の方から要望も聞き取りして、今後に役立てています。これからも、会員の皆様が安全に就業できるように、事務局と安全委員のメン

バーが一丸となりパトロールを行い安全就業の確認に努めていきたいと思ひます。

体調管理、梯子の一人作業、保護具等の未着用、無段差での転倒・・・怪我などによる入院で入院期間が長期化する傾向があり、「元的生活」に戻れないことも多いので安全対策の徹底をお願いします。

会員の皆様ひとり一人が就業・途上の危険を予知し、備える事で必ず事故が防げます。

「1人でK(危険) Y(予知) 活動を！」何時・何処でも起こりうる もしかしたら！をイメージしてみてください。

「もしかしたら・・・」は自分の身を守ってくれます。健康で安全に就業していけるよう、ご自愛ください。

本格的な寒さと雪はまだまだこれからですが、最小限の被害に抑えるよう事前準備と予測をし、気象情報に注意を払いながら、安全歩行・安全運転をお願いします。

また、体調が悪いときは、仕事先やチームに迷惑がかからないよう、シフトの調整を行いますの

で無理せず早めに連絡をお願いいたします。

安全面においての情報やこんなものがあると良いなど些細なことでも事務局にご相談ください。



- |                   |                     |                    |                  |                |                 |                |                |                          |
|-------------------|---------------------|--------------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|--------------------------|
| 増山 あさみ<br>(事務局主事) | 佐藤 菊地 文志<br>(事務局局長) | 芳原 賀田 啓子<br>(三小3班) | 原田 益子<br>(月見小1班) | 内田 仁<br>(二小6班) | 小松 幸雄<br>(二小1班) | 長瀬 洋<br>(二小1班) | 安川 久<br>(二小6班) | <b>安全衛生管理委員</b><br>(敬称略) |
|-------------------|---------------------|--------------------|------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|--------------------------|





## “高齢者のおじ様

塩竈市花立町 佐々木 康子

シルバー人材センターにお世話になって30年余りで、我が家の歴史とほぼ同じです。私は共働きで、時間がおしくて、庭の草むしり、障子、ふすまの張替え、網戸の取替え等お願いしていました。

ここ数年は、窓ガラス掃除が主で、後期高齢者とおっしゃる3人のおじ様方に作業をお願いしています。このおじ様方がいい感じなので紹介します。

コロナ禍でも来て下さり、年のわりにはとても動きが軽やかで、互いの声がけも気持ち良いのです。今、この時間を大事になさり、頼まれたから

やる、というのではなく、働くことがすばらしいことで、きれいにして喜んでもらえるのが嬉しそうにお話するのです。私自身も楽しくなり、家の片づけもはかどります。

前の若い頃のお仕事は存じあげませんが、今のシルバーでの出来るお仕事を仲良く、手際よく、協力してやれるなんて素敵ですね。なので、毎年お願いする時は同じ方に、と頼んでいます。

来年も元気で又お会いしましょう。と言ってさようならします。是非今年も、その次も、お元気で、私の家の窓ガラスを、網戸を、きれいにしていただきたいと願っております。



## 市政功労者表彰を受賞して

玉小3班 永 埜 正 司

昨年の11月23日に、長年の水泳協会での競技協議役員としての活動をご評価いただき塩竈市より市政功労者表彰を受賞することができました。これも協会の皆様と一緒に活動していただいた皆様のおかげであると感謝しております。

また、シルバー人材センターでは、令和4年2月に入会してから、坂総合病院の食器洗浄や商工会議所ニュース配布、選挙関連の仕事では器財運

搬トラックの運転などを担当するなどいろいろな経験をすることができました。

また、昨年4月からは移動図書館「ぷくちゃん号」の運転で市内を廻っており、本を借りに来る子どもたちとの交流を持つことができました。

今後も元気なシルバーとして水泳だけでなく、シルバー人材センターの活動にも積極的に協力してまいりますので、よろしく願いいたします。





## 震災を越えて

杉小1班 里 舘 文 子

私がこの紙面にペンを執るにいたったのはシルバーだより編集担当の畠山さんから、里舘という名は初めて聞くがどこから来たのと問われ、大槌町で津波に遭い家族と家を失い曲折を経て塩釜に住んでいると伝えたことからだった。

シルバーだよりに載せる原稿を書いて欲しいとの話で、震災は語り継いでいくことが大切という言葉に心が動いた。

あの日、大地震の後、夫と犬と共に避難所である小学校の登り口に車を止め、私は車に犬を残し避難所に向かい、夫は避難誘導をする場所に向かった。その直後、津波が町を襲った。

翌日になっても姿を見せない夫。帰らぬ人となった事実を突きつけられた。どのような最期だったのだろうか？知る手だてもないまま、建物がなくなり泥だらけの町となった中、遺体を捜し歩く日々が続いた。

49日目に冷たい泥の中から夫は発見された。どこも傷んでいなかったことがせめてもの救いだった。

数ヶ月後、近所のOさんに会い夫の最後がどのようなだったかを知ることが出来た。「檀那さんの“津波だ！”の声に驚き家を出て走っていたら10m後ろを檀那さんが走っていて車からワンちゃんが顔を出していた」との短い話から状況を掴むことができた。

たった10m、車から犬を連れ出す時間もいれて5・6秒のことだろうか？5～6秒で生死を分けた事実を知り愕然とした。

私が犬を車に残さず避難所に連れて行っていたなら夫も犬も死なせることはなかった。この自責の念は消えることはないと思う。

避難所生活三日目、神社の高台に登り海を見下ろした時の衝撃も忘れることはできない。海を埋

め尽くした大量の家々の屋根と車。凄絶な波が襲った事実を物語っていた。私はあらん限りの大声で狂ったように泣き叫んだ。

その後、宮古、盛岡、仙台と流転し、ここ塩釜に落ち着いたのが7年前。一緒に住むことになった未だ独身の長男が塩釜に建売物件を求めたのだった。

数年が経ちシルバー人材センターに登録した直後、予防接種、検診の会場での仕事を頂いた。結婚以来、夫が起こした商売と私の楽器(ピアノ)指導の仕事を二足のワラジで自宅の中だけでの生活だったためか、ガス体育館の大きな空間で若い人たちのフレッシュさと賢明さの中、楽しく働かせて頂いたことは感動的で良い思い出として生涯残ると思う。

いつもオチャラケてばかりの自分が、しばし真剣に記憶を辿り原稿に向かったことは字数の関係で詳しく書くことは敵わなかったが、我が子達、兄姉や多くの人達に助けられ今の安穏な日常があることに気づかせて頂いた。

12年前のあの自然の驚異を目の当たりにし、自然を侮るな、舐めるな の教訓を得たと思っている。

夫は、若い頃から大槌の稲荷神社の氏子として活動していて、鹽竈神社の祭典・祭りには何度も応援に来ていた。そして宮古生まれの私が今塩釜で老後を過ごしていることに強い縁を感じている。

「メシ・フロ・ネル」の息子のメシ炊きバアさんでいることを幸福とし、塩釜の人達の誠実で温かい人間性と触れ合い、生かされた命をいとおしみながら暮らしていきたいと思っている。

(拙文を読んで頂き感謝します。)





## 魚市場の花畑

玉小3班 齋藤敬公

塩釜市魚市場の西側の駐車場と市道の間、長さ40m奥行4m(東側)と3m(西側)、約140㎡の細長い花畑があり、春は菜の花、秋はコスモスが咲きます。

以前は草地だったこの場所に花が咲くようになったのは次のようないきさつからです。

私は2020年2月から、塩釜市魚市場施設維持管理等業務に従事しています。業務の中に、毎日の作業ではありませんが駐車場周りの草地の草刈りがあります。雑草、特にヨモギは成長が早く年に4、5回草刈りが必要で、秋に背丈ほどに伸びると茎が太くなり刈取りに苦労します。

そこでヨモギの生態・駆除について調べたところ、茎を刈ったり根を掘り起こしても地中に短い根が残っているだけで繁殖する、根は地下20cm位までの深さで横に伸びて行く、などと判明。除去するのに除草剤の使用は好ましくないと考え、土を30cm程掘りおこして地中の根ごと取り除いてしまうことにしました。(斜面のヨモギは土の補強のため除去しない、飛来した種による若芽はすぐ抜く。)

草がなくなった場所をどうするか魚市場管理

事務所に相談し、景観への配慮を条件に所長の許可を頂き、花を育てることにしました。

花は春と秋に楽しめるように菜の花とコスモスを選定。2021年9月にヨモギの根を除去(80%の袋で20袋以上)、10月に菜の花の種を播き、その後は翌春の菜の花の開花→種取り→コスモスの種播き→秋の開花→種取り、のサイクルで育てていて、2023年で2年目になります。

耕耘機等はないので使うのは鍬1本。これで耕耘・小石の除去、畝作りをしています。(一連の作業で5kg程痩せます。)

2023年の夏は雨が降らずに立ち枯れしそうでしたが、恵の大雨のお陰で乗り切りました。2022年4月から主に仕事が終わった午後に世話をしていますが、成長の過程を見るのは楽しいものですし、市場の人や通行人から声をかけられることも励みになります。

また、道路沿いということもあり以前はゴミの投げ捨てが多かったのですが、花を育てるようになってほとんど無くなりました。「綺麗な状態」だと捨てにくくなるのかもしれない。

草刈りが大変という事から花を育てることになりましたが、草地に花が咲くことで少しでも魚市場に寄与することがあればと思いつつ花を眺めています。







# 除草班の写真撮影を担当して

一小2班 川村 和夫

私はシルバー人材センターに登録して約8年になります。当時は菊田局長に仕事をいただき、アルコール会社、市の駐車場管理、坂病院メンテなど仕事をさせていただき良い日々を過ごしました。

現在は除草班の写真撮影をさせてもらい、とても充実した日々を過ごしております。

私は元会社ではカメラ販売、写真撮影他の仕事をしており、私にとっては適した仕事でした。だ

が菊田局長が病気になり、さらに退職となりました。一緒に現場を周り撮影ポイントを教わり良かったのが、いざ一人で地図を見て現場を探し、撮影するのは大変苦労しました。

現在はそのお陰でどこの現場かすぐわかるようになり、私には合った仕事なので身体の続くかぎり、続けて行きたいと思っています。

除草班、処理班・・・事務所の皆様には大変お世話になりありがとうございます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 事業職群紹介(敬称略) 写真撮影 一小2班 川村和夫



除草長瀬班

熱海 健  
杉小1班  
京極 正四  
月見小3班

長瀬 洋  
一小1班

櫻井 重城  
三小3班

中野 茂  
二小1班  
齋藤 昭  
月見小5班



除草森班

佐藤 論  
二小4班  
森 勝男  
玉小3班

畑口 和廣  
杉小2班

高橋 一夫  
二小5班

須藤 俊夫  
一小1班



残材処理班

石川 敏勝  
一小1班

島山 勝雄  
一小3班

丹野 豪  
二小3班

高橋 和弥  
三小1班

菊地 清雄  
月見小5班

## 除草班 =権現堂・梅の宮浄水場=



大友 明夫  
一小2班

安川 久  
二小6班

相澤 ミドリ  
三小3班

鈴木 英治  
玉小2班

齋藤 隆  
一小5班



# シルバーパワーで街をきれいに!

事務局長 佐藤勝美

10月のシルバー月間に合わせて、コロナ禍でしばらく実施していなかったボランティア清掃を昨年10月28日に実施しました。

当日は9時30分までに会員30名が本塩釜駅に集合し、お揃いの赤(えんじ)と青(紺)のジャンパーで塩釜吉岡線の塩竈神社表坂前までの歩道を2班に分かれて進み、その後はおさんこ茶屋やお釜神社の前を通りシルバー人材センターまでの道のりを、たばこの吸い殻やジュース缶、ペットボトルなどのごみを拾い集めました。

本塩釜駅から鹽竈神社表坂までは塩釜市を観光で訪れる方々人気の散策スポットでもあり、き

れいな街を散策していただけるようにシルバーパワーを発揮し、塩釜のイメージアップに協力できたと思います。

道路を歩いている方々からは「ご苦労さま」や「ありがとう」などの声も掛けていただき、また、参加した会員の方からは以前ゴミ拾いした時よりはガムやたばこの吸い殻が減っていることやその日は天気が良かったことから気分よくゴミ拾いができたこと、今後も続けてほしい等の感想も聞かれました。

今年も実施する予定ですので、多くの会員の方の参加ご協力をよろしくお願いいたします。



明けましておめでとうございます 今年もよろしくお願い致します



事務局長 佐藤勝美

主事 増山あさみ

パート職員

主事・経理担当 鈴木亜希子

パート職員 渡部恵子

櫻井愛





# シルバー友の会だより

## 今年も元気で「友の会」を盛り上げよう!

1月26日(金):「新春の集い」 3月2日(土):日帰り旅行「パレス松洲」

友の会会長 小松 幸雄 (二小1班)

明けましておめでとうございます。

令和6年の新年を迎えまして、塩釜シルバー人材センター友の会の会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より会員の皆様には友の会の事業計画にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンの予防接種も7回目を終え、シルバー会員の皆さんにおかれましてもマスクの着用など十分な注意喚起を行い、定時総会で承認された令和5年度の事業計画も滞りなく実施されてきています。

第76回塩竈みなと祭陸上パレード「よしこの踊り」は参加人数こそ昨年を下回りましたが、総勢25名で炎天下の中を元気に踊りきり、シルバーパワーを発揮することができました。

秋の一泊旅行も10月15日～16日に「ハイルザーム栗駒」に19名の参加で実施されました。初日は天候に恵まれず、栗駒山のいわかがみ平では紅葉を愛でることが出来ませんでした。ホテルで入浴後の宴会では大いに盛り上がり、参加者のご協力のお陰で楽しい旅行会にすることが出来ました。

10月21日のシルバーの日の「清掃奉仕活動」は、塩竈市議選との日程との絡みもあり10月28日に変更され実施されました。友の会としてもセンター事務局の奉仕活動に協力を呼びかけ、30名という多数の方に参加して頂き、特に今年は女性の参加者が多かったことが印象に残りました。ご協力有難うございました。

今後の友の会の企画として、1月26日(金)マリングートにて「新春の集い」、3月2日(土)には松島の「パレス松洲」での日帰り温泉旅行をそれぞれ計画しております。多数のご参加をお待ちしております。

ます。

省りみれば、塩釜シルバー人材センター友の会が発足したのは昭和63年5月からですが、今年で35年目にあたります。発足の趣旨は、シルバー人材センターの会員は単に依頼を受けた業務をするだけでなく、友の会の組織の中に同好者のサークルを作ったり、旅行をしたり、塩竈市のお祭りに参加したりして会員同士の親睦と融和をはかり、センター事務局と密接な連絡を保ちながら、併せてより良いセンター運営に寄与する事を目的としています。そのような観点から**友の会はセンター会員と事務局職員との信頼関係を促す潤滑油のような存在でもあると思ひ活動を続けてまいりました。**

人生100年時代と言われる今日ですが、現在塩竈市民の65歳以上の方の人口割合は34.6%に及んでいると言われており、高齢者の多いシルバー会員にとって、会員同士の交流や親睦を図ることは、心身共に健康寿命を保ってゆく上で大切なことと思います。シルバー人材センターが平成24年に「社団法人」から「公益社団法人」に改めてから11年ほどになりますが、「公益社団法人」に改めて以降、宮城県の各シルバー人材センターの「友の会」の廃止が進み、現在「友の会」があるのは仙台市と塩竈市だけであると聞き及んでおります。**今後とも末永く存続させ、皆で盛り上げ充実した「友の会」であるよう願っております。**

ウクライナ侵攻や中東の紛争など、何かと身近な生活に物価の上昇として跳ね返ってくる不穏な世界情勢ですが、新しい歳を迎えてこの1年が友の会の会員にとって健全な良い年となるよう祈念いたします。本年も宜しくご協力の程をお願い申し上げます。



# 4年ぶり令和5年 友の会秋の旅行会「ハイルザーム栗駒」



「ハイルザーム栗駒」からの送迎車  
運転手小野寺正美さん



雨の「いわかがみ平」



宴会前に記念撮影



2023/10/1



秋の夜長午後6時から8時半まで大いに楽しく、にぎやかなひとときでした！

小松会長あいさつ



令和5年10月15日(日)





# 日本人の10人に1人は80歳以上 = 進む高齢化

人口の10人に1人が80歳以上という状況を、日本が初めて迎えた。総務省が昨年10月18日に公表した人口推計で、総人口1億2500万人の

29.1%が65歳以上となっている。日本は65歳以上の比率が最も高い。2位イタリア、3位フィンランドとなっている。塩釜市の65歳以上が34.6%。

## 天寿への道

古稀は70長寿の初歩よ さても遙かな天寿の山

喜寿は嬉しい喜び年よ あなたこれから老楽の道

傘寿80雨風ふせぎ 古くなったが骨丈夫

88歳米寿というのが 米はお国の宝です

卒寿といっても終りゃないよ あなた初老をおえただけ

## 事務局からのお知らせ

### 令和5年分の配分金支払証明書を送付いたします！

令和5年1月～12月分の配分金合計額を記載した「配分金支払証明書」を2月上旬に「圧着はがき」にて郵送いたします。

請負・委託で働く会員の皆さんは個人事業主となりますので、当センターからお支払いした配分金は税法上給与所得ではなく、雑所得となり、収入金額により確定申告が必要になります。令和6年1月～令和6年6月分の配分金支払日は次のとおりです。

1月31日(水)	2月29日(木)	3月29日(金)
4月30日(火)	5月31日(金)	6月28日(金)

### 編集後記

昨年10月、シルバー友の会「秋の旅行会」が4年ぶりに開催され、その模様をお知らせ出来ることを嬉しく思います。

定時総会は丸4年、出席者を制限し、感染防止を徹底したなかでの厳しい開催でした。

令和元年末にアジアで発生以来、新型コロナウイルスは南極大陸を除く全ての大陸に瞬く間に広がり世界的大流行(パンデミック)と化しました。世の中はなにもかにも変わってしまいました。

昨年5月にインフルエンザと同格の5類に引き下げられ、発症状況の詳細は報じられなくなり、不安な一面もあります。終息に近づいているのは確かなようです。

朝のこなき夜はない。

今年こそ良い年でありますようお祈りいたします。

皆さん、明日を信じ、希望を持ち続けて、頑張りましょう

(畠山)